

令和3年度 研究方針

1 研究主題

「生涯にわたって命を慈しみ、健やかな体と豊かな心を持ち、
たくましく生きていく子どもの育成を目指して」

近年、グローバル化や情報化が急速に進展し、社会が大きく変化し続ける中で、子どもを取り巻く状況が変化し、心身両面に関わる健康課題も多様化・複雑化し、その解決においては、養護教諭が中心的な役割を果たすことが期待されています。子どもが心身ともに健やかに育つことは、すべての人々の願いであり、子どもの健康の保持増進が保証される社会を築いていく必要があります。

私たち養護教諭は、このような状況を踏まえ、自他の命を慈しみ、生き生きと学び、健やかな体と豊かな心を自ら求め、たくましく生きていく子どもの育成を目指しています。

本研究会は、各学校の特性や実情に合わせた養護教諭の教育活動の実践を、支部研究・グループ研究・公募研究を行い、養護教諭が互いに学びあい自身の教育活動に活かせる研究を進めていきます。そして、今までの研究の成果を活かし、専門性と力量の一層の向上を図っていきます。

2 研究方法

研究は、以下のように行います。

- ・研究は2年以上継続を原則とする。
- ・研究は次の方法で行う。

支部研究：小学校－16支部 中学校－8支部 高校－1支部

グループ研究：総合支援学校

公募研究：研究委員公募

- ・支部研究とグループ研究は、令和元年度あるいは2年度から取り組んでいる、それぞれの特性に合わせた研究を引き続き進める。
- ・令和3年度の公募研究は、令和元・2年度に引き続き「養護教諭が中心となって進める教職員研修」について研究を進める。

<公募研究のテーマ設定理由と研究内容>

児童生徒一人一人の健康課題に応じ、きめ細やかな対応ができるよう、管理職や教職員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校医など、地域の専門機関と養護教諭が連携した取組の充実が求められています。そして、「子どもの命を守りきる」ためには、全ての教職員が救急処置の知識や技能を習得し、疾病管理やメンタルヘルス、薬物乱用防止や性に関する指導などについても知見を深める必要があります。そこで、令和3年度は引き続き、「養護教諭が中心となって進める教職員研修」をテーマに教職員研修について研究を進めていきたいと考えています。

3 研究のまとめ

支部研究、グループ研究は、それぞれの実情に応じて3年以上の研究も可能です。令和3年度末においては、昨年度、あるいは一昨年度からの研究成果をまとめて研究冊子を作成し、テーマ別研究協議を行います。公募研究は、3年間通じて研究したものを、令和3年度末にまとめて冊子を作成し報告を行います。